



■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度

国際ロータリー会長 / ゴードン R. マッキナリー  
2690地区ガバナー / 石倉 貞昭

会長 / 清原 正幸 副会長 / 來間 久  
幹事 / 松浦 剛司 会計 / 小汀 泰之

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
12月14日	次年度幹事 原 伸雄	忘年例会次期クラブR財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー報告
12月21日	出雲市立総合医療センターリハビリテーション技術科 科長 安食克志様	生活習慣病予防の運動療法
12月28日	休会	
1月4日	休会	
1月11日	ホテルほり江 18:30~	新年例会
1月18日	国富コミュニティセンター 12:30~	職場訪問例会

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
37	30	7(3)	85.71

■欠席者

釜屋 / 荒木 / 大谷厚 / 田中 / 園山(黒田 / 牧野)

■来訪者

なし

■メークアップ

12/8 清原・松浦・土江(出雲南)

■次回例会受付当番

(12月21日) 木村文彦 / 三好洋平 / 持田稔樹  
(1月11日) 飯塚洋道 / 小汀泰之 / 大島淳司

■近隣クラブ例会情報(メークアップを考えましょう)

月	出雲中央 12/18・1/22・29 12/25・3/11(-)	松江南 12/18・25 1/29 2/19
火	出雲 12/26・1/2・30(-) 2/27	松江しんじ湖 12/19・26 1/2・9・30 2/20
水	大社 1/10 12/27・1/3・31(-)	松江 12/20・1/31 12/27(-) 1/3・17・2/21(-)
木	(-) ; ビジター受付なし	松江東 12/21・2/1 12/28(-) 1/4・2/15・22(-)
金	出雲南 12/22 12/29・1/5(-) 1/19	

■会長挨拶

先週は、忘年例会でした。たくさんの奥様方にご出席いただき賑やかに、楽しく忘年会が出来ました。歳末高齢者福祉募金も10万円も集まりました。皆様ありがとうございました。忘年会を企画していただきました、多久和副委員長をはじめ出席親睦委員会の皆様お世話になりました。

早いもので本年も残り2週間あまりとなりました。今年も様々なことがありました。その中の一つに第5回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で3回目の優勝を果たした侍ジャパンがありました。その代表監督を務めた栗山英樹氏の戦いの記録を収めた「栗山ノート 2」の中に書かれていたことをご紹介します。栗山氏は侍ジャパンをなぜ世界一に導いたのか。それは故野村克也氏に何度となく聞かされた言葉「組織はトップの器以上に大きくならない」を胸に刻

み続けたからだと言っています。

では野球界においてトップの器とは何か。栗山氏は答えを求めて本を読み、様々な人と会い続け、たどり着いた姿勢が「ブレず、動じないこと」です。チームづくりから個々の作戦に至るまで、先輩諸氏から受け継いだ野球観を貫き、選手を信頼し続ける。そう決めたそうです。鈴木誠也選手の離脱など緊急事態が発生した時には、中国清時代末期に曾国藩が残した「四耐四不訣」をノートに書き留めて、心を静めたという。

「冷に耐え、苦に耐え、煩に耐え、閑に耐え、激せず、躁がず、競わず、随わず、以って大事を成すべし」

冷に耐えー人間は世間の冷たいことに耐えなければならぬ

苦に耐えー苦しみにも耐えなければならぬ

煩に耐えーわずらわしいことにも耐えなければならぬ

閑に堪えーひまにも耐えなければならぬ

激せずー大事をなさんとする者は興奮してはいけない

さわがずーばたばたしない

きそわずーつまらぬ人間と競争してはいけない

したかわずー人のあとからのろろついて行くのは最もいけない

これを実践することは非常に難しいことですが、大事を成すにはこうした姿勢が重要である。こう解釈し、監督として王座をつかんだと言っています。

これは会社においても、組織活動においても同じことが言えると思います。常に冷静で、自分を信じて行動していきたいと思えます。

本年もあと2回の例会となりました。本日は、12月10日に行われました次期クラブロータリー財団委員長研修会、地区補助金管理セミナーの報告となっています。いよいよ次年度もスタートしました。ここ2年続けて地区補助金を活用しての事業を行なっています。来間年度もぜひ積極的に地区補助金を活用して、事業をおこなって頂きたいと思えます。

本日の例会も実りあるものとなりますようよろしくお願いいたします。

■幹事報告

1. 例会変更

○出雲 RC 2/27(火) ロータリー創立119年記念例会(夜間例会)  
ホテル武志山荘

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 ホテル武志山荘

○出雲南 RC 1/19(金) 新春家族会(夜間例会)

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 事務局

2. 休会

○出雲 RC 1/2・30(火) 定款による ビジター受付 なし

○出雲南 RC 1/5(金) 定款による //

☆11/24開催「竹内昌彦先生 教育講演会」がかとテレビ放送のご案内  
放送日時: 12月16日(土) 19:00-22:00

12月17日(日) 1:00-7:00 ~ 22:00(3時間おきに放送)

12月18日(月) 1:00-7:00 ~ 16:00(3時間おきに放送)

2月には12CHでも再放送されます。(ケーブル番組表を参照ください)

■理事会決定事項

○林 浩司 会員 12月1日付け異動により退会届が提出され、受理しました(12/7 例会発表分)

■ ■ ■ 委員会報告 ■ ■ ■

情報雑誌委員会：ロータリーの友誌 12月号の紹介

// : 家庭集会のご案内

開催日 1/15(月)・17(水)・19(金) 会場 ゆり

日程変更希望の方は事務局まで

職業奉仕委員会：職場訪問例会について

開催日 1/18 12:30~ 会場 国富コミュニティセンター

■ ■ ■ スマイル ■ ■ ■

清原 (先日の忘年例会では多数お出かけ頂きありがとうございました。歳末高齢者福祉募金にもご協力頂きありがとうございました。)

松浦 (先日の忘年例会では多数お出かけ頂きありがとうございました。また出席親睦委員会の皆様大変お世話になりました。)

石原 (先週の忘年例会では家内がお世話になりました。来年こそは出席率をあげていけるよう頑張りますので皆さんよろしくお願ひ致します。)

來間 (先日 12/10 岡山へ行って来ました。“まご”に会いに行った訳ではなく地区補助金セミナーに出かけてきました。とても勉強になりました。孫にも会いました。)

佐々木 (先般 太田姓に改姓しました。引き続きよろしくお願ひします。原 次期幹事、ロータリー財団セミナーのスピーチよろしくお願ひします。申し訳ありませんが所用により早退します。)

恒松 (家庭集会の案内をします。今年 1 年間お世話になりました。)

小汀 (本日は所用のため早退いたします。宜しくお願ひ致します。)

■ ■ ■ 例会プログラム ■ ■ ■

次期クラブ R 財団委員長研修会 地区補助金管理セミナー報告

次年度幹事 原 伸雄

5. 地区補助金申請に必要な書類

申請書類 記載例を参考にしてください。ご不明点は、地区 R 財団事務所までお問い合わせください。

- ③ロータリー財団 クラブの覚書 (MOU)
- ④ロータリー財団地区補助金申請書
- ⑤プロジェクト予算書
- 見積書 (相見積書を含む)

R 財団の審査は米国本部で行われ、平易な日本語で簡潔にご記入ください (特にプロジェクト名)。見積書 (相見積書) の宛名は、クラブにしてください

申請手順

<2024 年 2 月 1 日~3 月 31 日厳守> 地区 R 財団事務所へメール送信

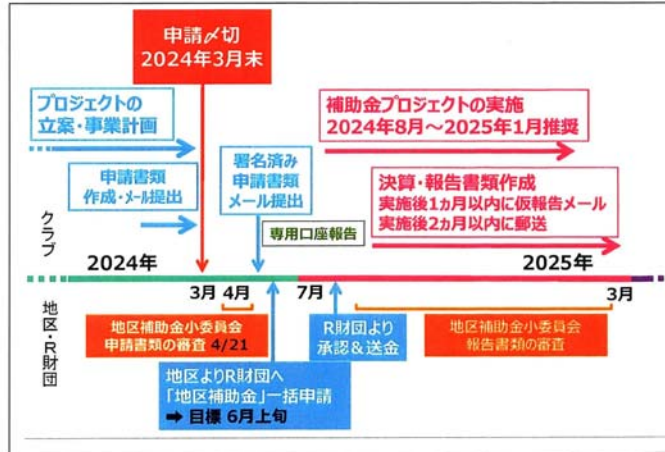
- ④ロータリー財団地区補助金申請書 (Word 形式: 未署名)
- ⑤プロジェクト予算書 (Word 形式)、見積書

<2024 年 5 月 20 日まで> 地区 R 財団事務所へメール送信

- ③ロータリー財団 クラブの覚書 (MOU) (PDF 形式)
- 署名済みの書類 (PDF 形式)

4 月 21 日補助金小委員会審査 必要があれば修正

6. 2024-25 年度 地区補助金プロジェクトスケジュール



○奉仕プロジェクト事例発表

☆岡山中央 RC

【グローバルボールの世界体験プロジェクト】

事業内容

- ・グローバルボールチームである「岡山シーガールズ」の管理栄養士による食育についての講演会
- ・プロスポーツを支える取り組みとチームの社会貢献の紹介。
- ・小中高生 40 名とワークショップ (様々な意見や画期的なアイデア等が出てきたそうです)
- ・選手による実践指導

\*「冠名基金」について。

- ・恒久基金の一つで、元本は使われることなく使用可能な投資収益のみが活動資金に役立てられるというもので、恒久基金へ 25,000 ドル以上の寄付することにより、好きな名前をつけた基金を設立することができ、個別で管理されるというもの。



1. 2023-24 年度 地区補助金プロジェクトについて

【地区の申請結果】

2023 年 6 月 18 日 R 財団本部へ申請

2023 年 7 月 10 日 承認

2023-24 年度 地区補助金申請額の上限額 140,008 ドル (19,601,120 円) ※1

(3 年前の年次寄付実績額の 50% (249,057.91 ドル) + 利用可能な恒久基金収益 (30,959.27 ドル) ) × 50%

プロジェクト名	申請時の予算※1		プロジェクト総額 (円)
	ドル	円	
クラブ提唱プロジェクト 34 件	74,228	10,391,920	19,694,346
奨学金 (2 名)	38,000	5,320,000	
補助金管理セミナー会場費・印刷費 (2023 年 12 月 10 日開催)	12,000	1,680,000	
奨学生オリエンテーション 会場費・印刷費 (2024 年 4~5 月開催予定)	1,000	140,000	
補助金管理運営費※2	2,780	389,200	
臨時費※3	12,000	1,680,000	
合計	140,008	19,601,120	

※1 2023 年 6 月ロータリーレート 140 円で計算

※2 上限は補助金総額の 3%

※3 上限は補助金総額の 20% 補助金承認後のプロジェクト追加には R 財団の事前申請が必要